



「僕ね、学校では仮面一枚つけてるんだ」

小学四年生の男の子の何げない一言に、僕は聞き返した。

「そうなんだ、学校では仮面をつけているんだ」

「うん、家じゃ二枚だけどね」

天野秀昭氏「生きる実感育んで」より
(東京新聞日曜版5月5日号)

「子どものため」^{って}誰のため?

～ 期待に応えようと「いい子」を演じる子どもたち～

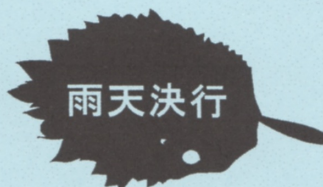
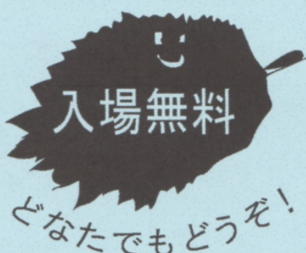
平成26年

9月13日(土) 10時～12時

場所 仲田の森蚕糸公園
(日野市日野本町6-1-3)

仲田小、ふれあいホール横

お子さん連れ大歓迎の野外講演会!



講師

日本初のプレーリーダー

天野秀昭氏

大正大学人間学部人間環境学科
こどもコミュニティコース特命教授
NPO法人「日本冒険遊び場づくり協会」理事
NPO法人「プレパークせたがや」理事
NPO法人「フリースペースたまりば」理事
NPO法人「園庭 園外での野育を推進する会」理事長

森でお子さんを見守りながら一緒に耳を傾けませんか?

※当日は土曜の森気まぐれランチはありません。お弁当をお持ち下さい。

ケガしたらかわいそう...
だから、そうなる前に
やめさせなくちゃ!
って思います。

毎日子どものために
頑張っているあなたへ

「いーれて!」「かーして!」
って言えるように
教えないとダメなの?

私も
「いい子にきなさい!」と
育てられてきたから...

子どもの将来を考え、
丁寧に子育てしてきたつもりなのに
なぜか自信が持てなくなったり
不安な気持ちにかられてみたり...

天野さんのお話を伺いながら
一緒に考えてみませんか?

私がこんなに頑張って
子育てしてるのに、
なんでちっとも言うこと
聞いてくれないのー!

きちんとしつけをしない
と、我が子が将来、人に
迷惑をかける人にならな
いか心配なんです。

子どもとの関係、
これでいいのかな?
そう思いながらも、
毎日がバタバタ
過ぎていきます。



天野 秀昭氏

四半世紀以上にわたって、
「子どもがあそぶこと」に
情熱を傾けてきた人です。

「あぶない」「きたない」「うるさい」
ぼくはこれを、子どもの遊びを表す三大形容詞と言ってきた。
それをもっと社会は許容してほしい。
それがぼくの、この32年間の訴えだった。
—天野秀昭著『よみがえる子どもの笑顔』より

【講演会開催場所のご案内】

なかだの森であそぼう!

子どもが主人公の居場所「なかだの森であそぼう!」は、「遊びを通した育ちと体験の場づくりの実現」として日野市の施策に基づいて実施しています。

日 毎週金曜日&毎月第2土曜日&毎月第4水曜日
※祝祭日・年末年始・8月はお休み

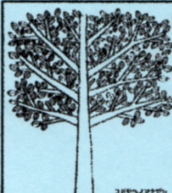
時 10:00~17:00 (※雨でもやっています!)

費 無料!! いつ来て、いつ帰ってもOKです!

駐 駐車場あり (100円/1時間)

持 おわん、お箸、おにぎり、水筒、着替え
金曜日は「なかだ鍋」! (鍋の具材/調味料代100円)

【なかだの森であそぼう!開催場所】



「子どもが主人公の居場所」を創り続けよう!
子どもがいるからつながる「人の輪」を広げよう!

NPO法人

子どもへのまなざし

〒191-0024

東京都日野市万願寺1-25-8

TEL 050-3721-1973

(月~木・13:00~17:00)

<http://manazashi2009.sakura.ne.jp/>